

第2期宇治市観光振興計画について

1. 基本理念、アクションプランコンセプトについて

①基本理念

計画期間11年間の間に宇治市の観光が長期的に目指す姿として設定

また、変化する社会情勢に対応できるよう、3～4年を単位としてアクションプランを策定し、基本理念の実現に向け、施策を展開する。

【基本理念の考え方】

宇治市には、歴史・文化、宇治茶、自然・景観等古来より受け継がれてきた貴重な財産に加えて、ロケーションツーリズムやインフラツーリズムといった、多様な観光動向にも対応できる様々な観光資源が存在しています。

それぞれの資源は魅力あふれるものであり、さらにその資源をストーリー性をもってつなぐことで共感を生み、新たな価値が生まれると考えています。

その新たな価値を国内外の観光客をはじめ地元の方々にも知ってもらい、宇治のまちを大切に守り、育て、発信していくことが、宇治の観光を未来につなげていくために必要です。

第1期計画において「観光都市 宇治のブランド力を高める」取り組みをおこなってきましたが、その基本的な考えは継承しつつ、観光のスタイルが近隣化・分散化・少人数化したWITHコロナ・POSTコロナ社会においても、宇治にしかない魅力を未来へつなげるため、基本理念を設定します。

【基本理念（案）】

宇治のブランド力を未来へ織り成す

②アクションプランコンセプト

3～4年を単位として施策展開を行うアクションプランの取り組む方向性をコンセプトとして設定する。

【前期アクションプラン（R5～R7）の考え方】

新型コロナウイルス感染症の影響により、度重なる行動制限やインバウンドの激減等、観光業界は大きな打撃を受けました。

このような中、これからの3年間にはJR奈良線の複線化、大河ドラマ「光る君へ」の放送、任天堂資料館（仮称）の完成、新名神高速道路開通、大阪・関西万博の開催といった、宇治市の観光にとって追い風となる事柄が続くことから、この機会を逃さず、国内外から観光客を迎える取り組みを進めていくことが必要となります。

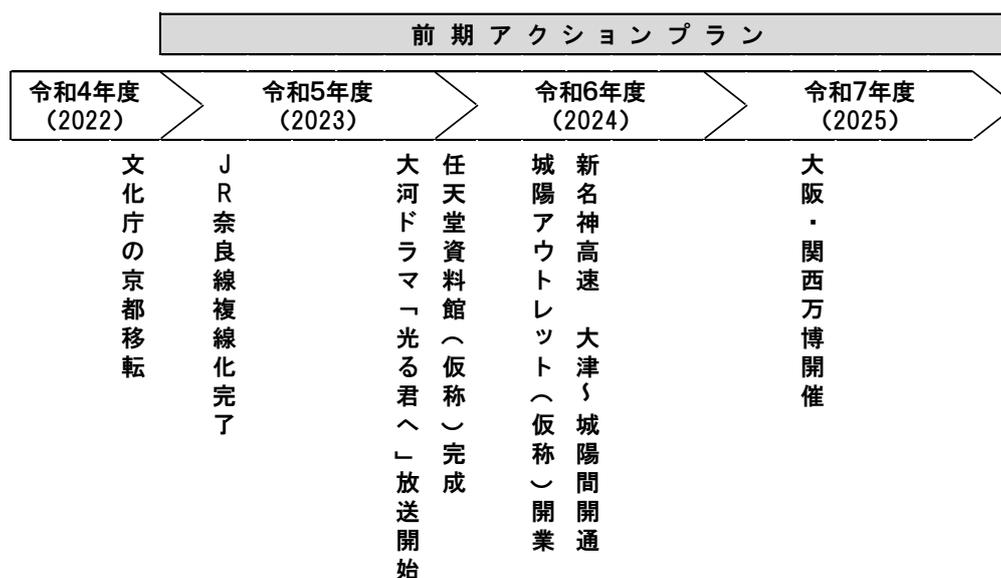
また、宇治市だけでなく、京都府や近隣市町村、お茶の京都DMOや旅行会社、交通事業者などと連携することで、広域的な周遊観光を実現し、様々な観光客の誘致が期待できます。

これらのチャンスを最大限に活かすために、前期アクションプランのコンセプトを設定し、WITHコロナ・POSTコロナにおいても戦略的な観光施策を展開していきます。

【前期アクションプランのコンセプト（案）】

コロナを乗り越え 新たな時代に輝く観光・宇治のまちづくり

[前期アクションプラン期間中に予定されているトピックス]



2. 観光戦略と施策の展開について

基本理念

宇治のブランド力を未来へ織り成す

前期アクションプランコンセプト

コロナを乗り越え 新たな時代に輝く観光・宇治のまちづくり

基本方針

宇治を照らす
～新たな魅力の発見～

宇治から広がる
～広域交流の実現～

宇治でもてなす
～おもてなし力の向上～

観光戦略と施策の展開

1.観光コンテンツの発見

- ①自然環境を活かした観光の推進
- ②伝統的文化を活かしたコンテンツづくり
- ③時間のうつろいを感じられる観光の推進
- ④地元産業と連携した体験型観光の創出

2.豊富な観光資源の魅力再発信

- ①「源氏物語のまち」のブランド力の強化
- ②宇治茶ブランドのさらなる活用
- ③寺社仏閣等の歴史資源との連携
- ④地域に根付く商店街等との連携
- ⑤宇治にまつわるコンテンツを通じた魅力の発信

3.広域的な観光の推進

- ①市内周遊性の向上
- ②お茶の京都エリアで連携した魅力発信
- ③広域観光の推進
- ④外国人観光客の誘客強化

4.おもてなしのまちづくり

- ①地域への愛着を通じたおもてなし
- ②安心して誰もが観光できる環境の整備
- ③快適に観光できる環境の整備

5.効果的な魅力発信

- ①戦略的な情報発信
- ②観光大使やメディア等を活用した情報発信
- ③市民や訪れた方が発信したくなる仕掛けづくり

基本方針1 宇治を照らす ～新たな魅力の発見～

宇治には宇治川を中心とする自然景観、世界遺産である平等院や宇治上神社をはじめとした豊富な歴史資産、平安時代を舞台にした源氏物語、加えて、宇治茶を好んだ豊臣秀吉が築堤した史跡宇治川太閤堤跡や、お茶に関する伝統的な生業の風景が息づく宇治のまちの文化的景観など、豊富な観光資源が存在します。近年は、「宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり」計画の策定や、「お茶と宇治のまち歴史公園」の開園により、これらの資源をさらに活かす取組を進めています。

一方で、これまであまり注目されることのなかった資源にも様々な角度から光をあて、新しい技術も活用することで、さらなる魅力を再発見できる取組を進め、来るたびに宇治の良さが体感できるようなまちづくりを進めていきます。

基本方針2 宇治から広がる ～広域交流の実現～

前期アクションプランの期間中には、JR 奈良線の複線化、大河ドラマ「光る君へ」の放送、任天堂資料館（仮称）の完成、新名神高速道路開通、大阪・関西万博の開催といった、広域的な新たな交流の機会が予定されています。宇治市の観光にとって追い風となるこの機会を捉え、多様な主体と連携し、それぞれの魅力的な観光資源を活かすとともに、ストーリー性をもって共同で発信することで、相互に人が行き交う周遊・滞在型の観光を楽しんでいただける仕掛けづくりを進めていきます。

基本方針3 宇治でもてなす ～おもてなし力の向上～

宇治を訪れる観光客が「訪れてよかった、また来てみたい」と感じていただくためには、まち全体で「おもてなし」の心を持って迎え入れることが必要です。そのため、宇治市民が宇治を好きになり、豊富な自然、歴史文化、観光資源を持つ宇治を誇りに思い、「ふるさと宇治」に来られる観光客を温かくお迎えすることができるよう取り組みを進めていきます。

また、国内外から多くの観光客の来訪が期待される中、宇治を訪れるすべての方に満足していただけるよう、安全に安心して快適に観光できる環境の整備を進めていきます。

観光戦略と施策の展開

1 観光コンテンツの発見

宇治は、歴史・文化、宇治茶、自然・景観等、多様な観光資源に恵まれています。その中でも、これまであまり注目されることのなかった資源に光をあてることで新たな観光コンテンツの再発見に努め、何度も来たくなる観光地を目指します。

1-1 自然環境を活かした観光の推進

宇治川周辺の景観や豊かな自然環境が織り成す四季折々の姿を活かした宇治ならではの観光を推進します。

1-2 伝統的文化を活かしたコンテンツづくり

宇治の地に古来より受け継がれてきた伝統的文化を伝承・保存するとともに、新たな取組にも挑戦し、宇治にしかない魅力を生み出します。

1-3 時間のうつろいを感じられる観光の推進

時間によって表情が変わる宇治を、朝から夜まで、その時間ならではの表情を楽しんでいただける仕掛けづくりに取り組みます。

1-4 地元産業と連携した体験型観光の創出

農業や伝統工芸などの地元産業と観光を結びつけることでさらなる付加価値を生み出すとともに、生産者との交流で多くの学びが得られる体験型の観光を広げ、新たな観光需要を生み出します。

2 豊富な観光資源の魅力再発信

広く知られている観光資源にも、その伝統・歴史を守りながら様々な角度から光をあて、新しい技術も活用することで、多くの方へさらなる魅力を再発信できる取組を進めていきます。

2-1 「源氏物語のまち」のブランド力の強化

源氏物語宇治十帖や今後大河ドラマで注目が集まる紫式部を改めて PR し、各種イベント等との連携を強化しながら文化観光を推進します。

2-2 宇治茶ブランドのさらなる活用

高級茶としての宇治茶に加えて、宇治茶を使ったスイーツや覆下栽培等宇治ならではの茶園風景を活かしながら、その歴史や伝統も知っていただける観光を推進します。

2-3 寺社仏閣等の歴史資源との連携

平等院、宇治上神社の世界遺産をはじめ、黄檗宗の大本山萬福寺、花のお寺として名高い三室戸寺、宇治神社、興聖寺等多数の寺社仏閣と連携し、歴史的な街並みを継承しながら、それぞれのブランド力やストーリー性を活かした取り組みを進めていきます。

2-4 地域に根付く商店街等との連携

魅力的なヒト・モノ・コト・空間に出会える各商店街を、観光客にも市民にも楽しんでいただけるよう連携を進めていきます。

2-5 宇治にまつわるコンテンツを通じた魅力の発信

認知度が高く誘客効果の高い作品を通じて宇治を知ってもらい、イベント等で連携することにより作品と地域の魅力を発信していきます。

3 広域的な観光の推進

広域的な新たな交流の機会を捉え、多様な主体と連携してお互いの地域の魅力を活かすことで、国内外の観光客に周遊・滞在型の観光を楽しんでいただくとともに、任天堂資料館（仮称）の完成や大阪・関西万博の開催が予定されている中、京都・大阪・奈良などの近隣地域を訪れた観光客が一足伸ばして宇治へも訪れていただけるような取り組みを進めていきます。

3-1 市内周遊性の向上

中宇治地域だけではない市内の多様なエリアのにぎわい創出や周遊ルートの整備に取り組み、観光客に宇治を広く巡っていただける仕掛けづくりを行います。

3-2 お茶の京都エリアで連携した魅力発信

お茶の京都エリアである山城地域の玄関口として、各市町村と連携してそれぞれの地域の魅力や特徴を活かした誘客を行うことで、周遊・滞在型の観光を強化していきます。

3-3 広域観光の推進

観光連携協定をはじめ宇治市と様々な連携協定を結ぶ市町村などと広域的な連携を進めていくことにより、それぞれの持つ魅力を協力して発信・誘客していく取り組みを進めていきます。

3-4 外国人観光客の誘客強化

海外の国や地域のニーズを踏まえたプロモーション活動を戦略的に行うとともに、外国人観光客を引きつける観光コンテンツや文化的背景にも対応した受入環境の整備を進めていきます。

4 おもてなしのまちづくり

宇治市民が宇治を知り、好きになり、誇りに思うことで、おもてなしの心をもって観光客に接するとともに、より良いまちづくり、地域づくりに繋げていきます。また、宇治を訪れるすべての方が安心して快適に観光できる環境の整備をデジタル技術も活用し、持続可能な観光のまちづくりを進めていきます。

4-1 地域への愛着を通じたおもてなし

子どもから大人までが自分たちの住む地域や宇治の良さを理解し、魅力を再発見できる取り組みを進めることで、地域に愛着を持ち、誇りに思い、観光客を温かく迎え入れる心や自分たちの地域をより良くするためのまちづくりに繋がります。

4-2 安心して誰もが観光できる環境の整備

高齢者や障がいがある方、子育て世帯や外国人観光客にも、安全に安心して観光できる環境を整備します。

4-3 快適に観光できる環境の整備

訪れた方が快適に過ごせるよう、市内の周遊性を高める取り組みや四季を通じて観光を楽しめる環境づくりに取り組みます。

5 効果的な魅力発信

宇治のもつ多様な魅力を世界中の方に発信することで、観光地として宇治を選んでいただくための訪問意欲の喚起や観光後も宇治とつながっていただける取り組みをデジタル技術等も活用し進めていきます。

5-1 戦略的な情報発信

情報発信・情報取得の方法や旅行者のニーズが多様化する中、各戦略で取り組む様々な情報を、必要な時に、必要な人へ、必要な情報を届けられるよう、データの収集・活用を行い、ターゲットに合わせた情報発信を行います。

5-2 観光大使やメディア等を活用した情報発信

発信力の強い観光大使と連携し情報を発信したり、フィルムコミッションによるロケ誘致等に取り組み、宇治を知っていただく機会を創出します。

5-3 市民や訪れた方が発信したくなる仕掛けづくり

市民や訪れた方が SNS 等を活用し、宇治の魅力を発信したくなる仕掛けづくりを行います。